

第3学年 社会科学学習指導案

指導者

1 単元名

～博多の心を届ける〇〇〇せんぺい～

工場で作られるもの

2 指導観

こんな子どもたちだから

- 〇〇〇煎餅は、福岡の人々にとっては馴染み深いお菓子で、アンケートでも子どもたちの86%が「知っている」と答えた。その成り立ち、にわかの意味などには関心をもってきている。 **(意欲・関心)**
- 子どもたちは学習してきて分かった事実をもとに自分の考えをマップに表したり、それをもとに聴き合い活動をしたりしてきている。ポートフォリオを活用して振り返ったり、地図資料を関連付けて読み取ったりすることが少しずつできるようになってきている。 **(学び方)**
- 前単元「福岡市のようす」の学習を通して、福岡市の人々の生活は自然環境や交通の様子と深い関係にあることや場所によって違いがあることを理解してきている。 **(認識)**

こんな教材を使って

○単元のねらい

本単元は、「自分たちの生活を支える福岡市の生産や販売について、その仕事の特色や他の地域とのかかわりなどを見学・調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫や他地域とのつながりを考えるようにすること」をねらいとしている。

○学習指導要領への意義

工場の仕事について、原材料の入手、生産のおよその工程、製品の販売の工夫、働く人の様子などを調べたり、また、地域の人々の生産の仕事が原材料や商品の入手、生産物の出荷など様々な面で国内の他地域などのかかわりがあることを調べたりする。そのために

- ① 福岡の街に根付いた郷土銘菓である〇〇〇煎餅を取り上げる。
- ② 〇〇〇煎餅の工場や店舗を実際に見学し、生産の工程やそこで働く人々の姿を見ることで人々の工夫や努力について考える。

このような教材を取り上げることは、福岡市には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを具体的に理解できるという点で価値高いと考える。

○テーマへの意義

〇〇〇煎餅を作るTさんの姿を通して共感的に学ぶことは、聴き合い活動への意欲を増し、考える力を身に付け豊かな学びをつくる子どもを育成する上で意義深いと考える。

こんな手立てで (方法)

○つかむ段階では

学習問題をもとに自分なりの課題を把握する聴き合い活動を設定する。〇〇〇煎餅を作り続けるTさんの姿を通して福岡市の生産や販売の様子を学び、なぜ〇〇〇煎餅が100年以上も作られているのか疑問をもたせる。そのために、様々な要因から考えの違いを比べたり、友達との意見交換によって自分の課題を持ったり見学の調べる方法を決めたりする。

T(GT)さん

○さぐる段階では

自分の課題に沿って追究し、考えマップに整理する聴き合い活動を設定する。

また、考えを整理して表現物に表したり資料をもとに自分の考えと根拠とのつながりを練り上げたりする。

○あらわす段階では

表現物をもとに、互いの考えの共通点から自分の考えを見直す聴き合い活動を設定する。

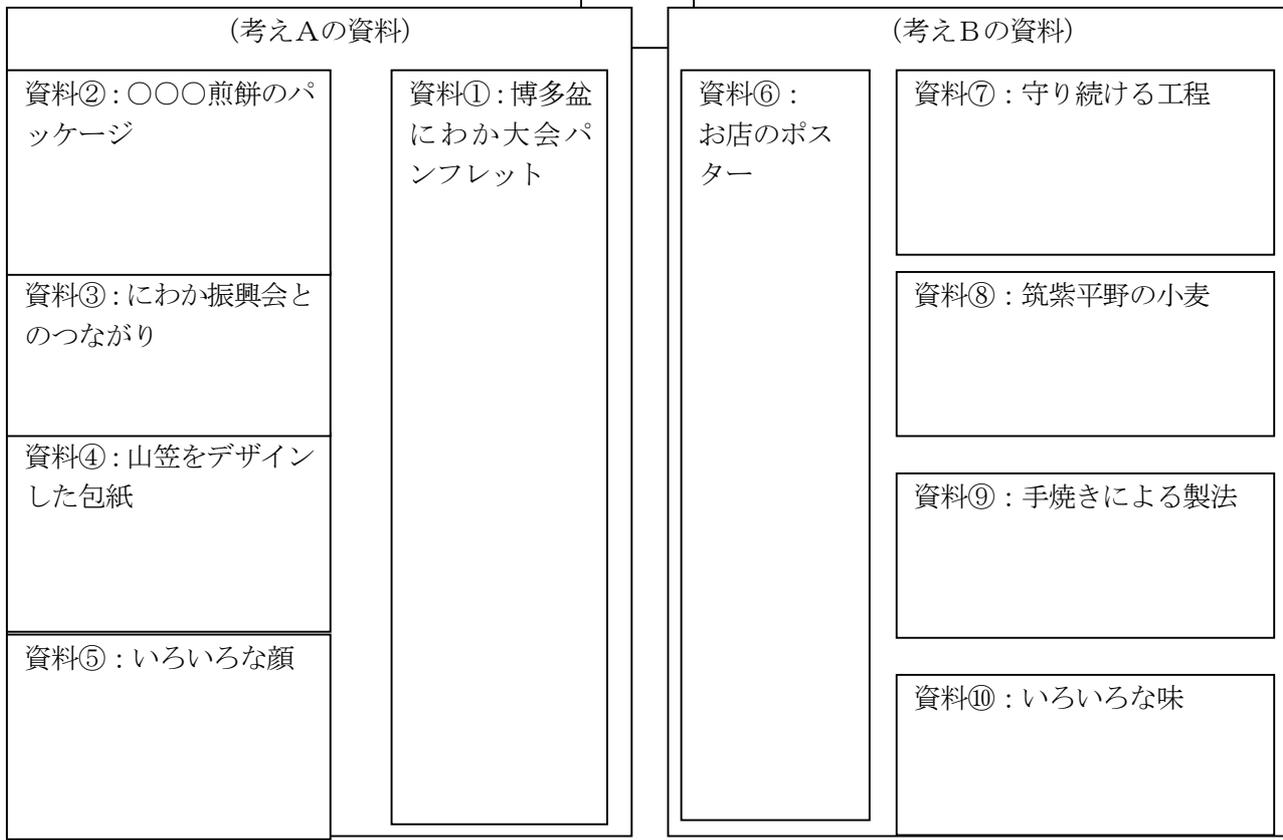
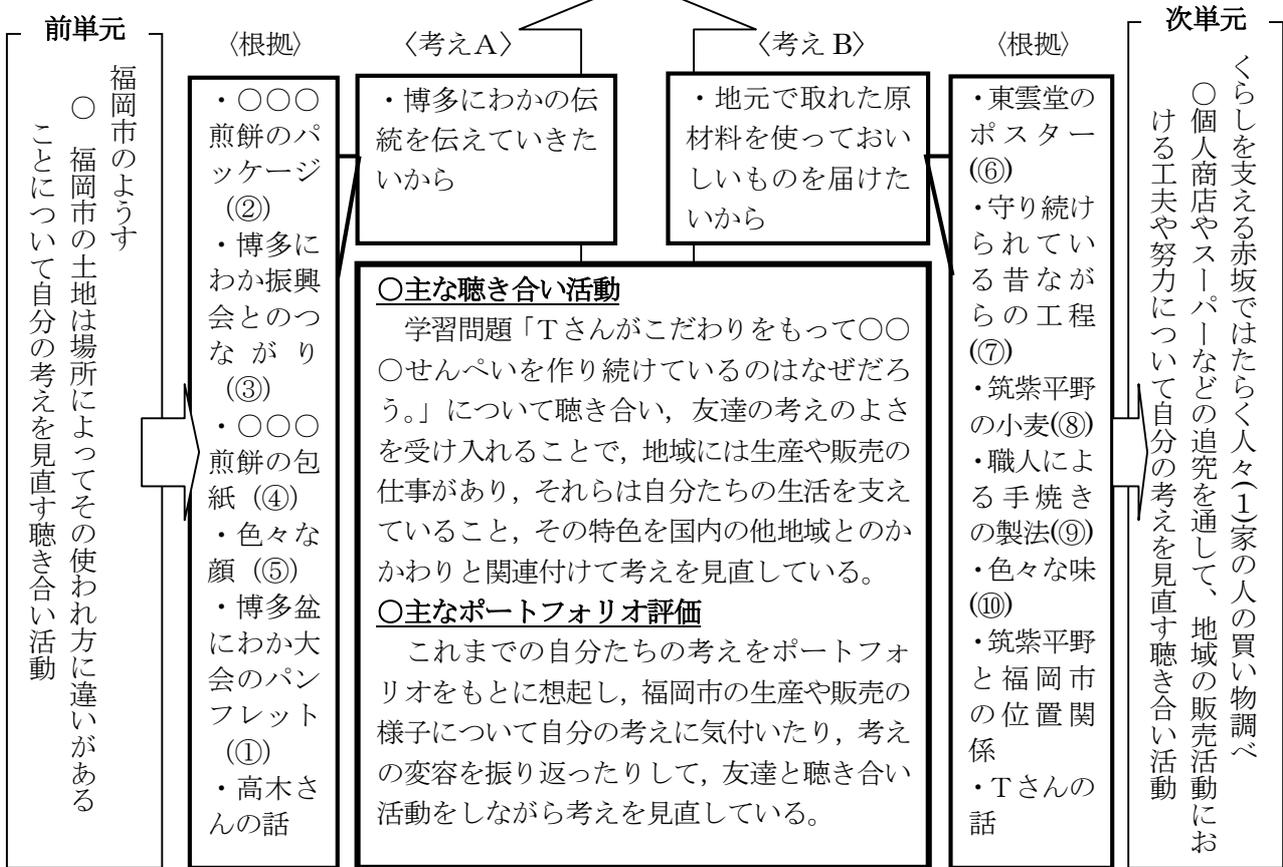
ポートフォリオを活用して自己評価をしたり、2つの考えの共通点から自分の考えを見直したりして、学習問題についての自分の見方・考え方の変容を振り返り、福岡市の生産・販売の様子を自分たちの生活とつないで考える。

目指す子どもの姿

- ◎ 福岡の銘菓である〇〇〇煎餅を作り続けるTさんの姿を通して、福岡市の生産や販売の様子に関心を持ち、それらと他地域とのかかわりなどを意欲的に調べることができる。 **(意欲・関心)**
- ◎ 福岡市の生産や販売の様子について、見学したり、資料を調べたりして、事実をもとに追究・整理し、フリップなどの表現物をもとに効果的に聴き合うことができる。 **(学び方)**
- ◎ 〇〇〇煎餅工場の見学や聴き合い活動を通して、工場の人々の努力や工夫が自分たちの生活に結びついていること、広く他地域ともかかわりがあることを理解することができる。 **(認識)**

3 単元カリキュラム

社会科部テーマ
人物とのかかわりを通して考える力を育てる社会科学学習



4 指導計画 (計10時間+見学2時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 ◇=評価規準 ・=意識	指導上の留意点と評価方法 ○=留意点 ◆=評価方法	配時
つかむ	<p>1 様々な事実と出会い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) ○○○煎餅を紹介し、その特徴や成り立ちについて話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くから博多の郷土芸能として親しまれている博多にわか 博多にわか半面をかたどったユーモアあふれる煎餅 創業100周年 博多銘菓のランキングで常に上位にランキングされる人気 	<p>◇○○○煎餅の形や成り立ちなどに関心をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○煎餅は食べたことがあるよ。 博多にわかとは一体どんなものだろう。 ○○○煎餅は、いつ、だれが作ったんだろう。 どうしてあんな形になったのかな。 どうして福岡の人々にこんなに愛されているんだろう。 図工で振興会の人たちと一緒に博多にわかのお面づくりをしたことがあるよ。 	<p>○子どもたちが関心をもって単元に入れるように、○○○煎餅の箱を提示する。 《支援⑤⑥》</p> <p>◆発言分析 ○○○○煎餅の形やパッケージから、Tさんがどのような思いでこれを作っているのか考えさせる。 《支援④⑥》</p> <p>◆ポートフォリオ分析 ○○○○煎餅の売り上げのグラフを提示する。 《支援⑤⑥》</p> <p>◆発言分析</p>	1
	<p>▲包装紙の裏の方言集</p>	<p>▲職人による手焼きの工程</p>	<p>させ</p>	1
	<p>(3) 伝統を守りながら○○○煎餅を作るTさんに出会う。</p>	<p>以上の側面から予想している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 	<p>る。 《支援①④》</p> <p>◆ポートフォリオ分析</p> <p>○自分の考えをマップに書かせ、組み立てながらも、根拠とのつながりも発表させる。 《支援④⑨》</p>	
<p>学習問題: Tさんがこだわりを持って○○○せんぺいを作り続けているのはなぜだろう。</p>				
<p>〈子どもの予想〉 ○博多にわかよさを伝えていきたいから。(博多の心を広げたい) ○地元で採れたものを使い、たくさんの人においしいものを届けたいから。</p>		の観察		
<p>【考えA】 ・博多にわか伝統を伝えていきたいから</p>	<p>【考えB】 ・地元で取れた原材料を使っておいしいものを届けたいから</p>	<p>交流活動① ●全体 ・相違点をもとに課題を明らかにする聴き合い活動</p>	1	

5 本時

Tさんがこだわりをもって〇〇〇煎餅を作り続けるわけについて、表現物をもとに聴き合う場面
(7/10)

6 本時の目標

- Tさんが作る〇〇〇煎餅について見学などで調べたことをもとに、福岡市の生産の仕事に携わる人々の工夫や、それらが自分たちの生活とつながっていること、国内の他地域ともかかわりがあることを理解できる。(学習指導要領から)
- 聴き合い活動を通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、〇〇〇煎餅が100年以上も作られているわけについて考えを見直すことができる。(テーマから)

7 本時の授業仮説

自分の考えを再構成する聴き合い活動と自分の考えの変容を振り返るポートフォリオ評価活動を設定すれば、福岡市の生産の仕事に携わっている人々の工夫や、それらが自分たちの生活とつながっていること、国内の他地域ともかかわりをもっていることが理解し、〇〇〇煎餅が100年以上も作られているわけについて博多にわかの伝統・〇〇〇煎餅の原材料や産地等の面から考えることができるであろう。

8 本時指導の考え方

○本時のねらい

本時は、学習問題の答えについて、博多にわかの伝統・〇〇〇煎餅の原材料や産地等の面から多面的に考えることを通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、福岡市の生産の仕事に携わっている人々の工夫を考えることができるようになることをねらいとしている。その際、地産地消の考えについても実感をもってつかませていきたいと考えている。

前時までに子どもたちは学習問題「Tさんがこだわりを持って、〇〇〇煎餅を作り続けているのはなぜだろう。」について、自分の課題をもって、意欲的に追究し、Tさんの気持ちを想像しながら共感的に調べてきている。子どもたちの考えは、【A:博多にわかの伝統を伝えていきたいから】【B:地域で取れた原材料を使っておいしいものを届けたいから】の大きく2つに分かれており、事実をもとに表現物に整理しまとめてきている。表現物には、主張点と根拠が分かりやすく並べられ、考えマップも補助資料として準備している。

○交流活動の工夫について

お互いの考えを知り、考えの違いを把握する聴き合いや、お互いの考えのよさを知り、共通点から考えの重なりを確かめる聴き合いをする。そうすることで、子どもが相互に違いを認めながらも、友達の考えのよさに納得し、その考えを受け入れて自分の学習問題の答えをもう一度考え直すことを通して、見方・考え方を深めることができる。と考える。

また、自分の考えを主張するときには、資料を提示しながら事実をもとに発言し、聴くときには「確かめ」や「質問」をし、活発な聴き合い活動になるように仕組んでいきたい。

聴き合い活動の際には考えマップに友達の考えのよさを書き込ませ、聴き合い活動への期待や成就感、また、自分の考えの深まりにも役立てていきたい。

○評価活動の工夫について

前時までの、それぞれの時間における考えを記録したポートフォリオを本時授業場面で活用し、自分の考えの変容過程を振り返らせ、見方・考え方の変容を実感させることで、友達相互の聴き合いの中で学習することへの価値をもたせたり、聴き合い活動での発表補助資料に役立てたりしていく。前時までに、自分の考えを表現したものをポートフォリオにまとめておき、考えマップを併用しながら、考えの変容を自己評価カードに記入し発表させることで自尊感情を高めていきたい。

・規準に満たない子への支援

共通点が見付からない子どもには、Tさんの〇〇〇煎餅に対する熱い気持ちに触れさせ、学習問題をどんな視点で見直すとよいか考えたり、考えをつないでみたり、まとめてみたりさせる。また、写真資料や地図資料をもとに具体的に考えさせるようにしていきたい。

9 準備

〇〇〇煎餅、にわかの面、販売マップ、フリップ、考えマップ、プロジェクター、ポートフォリオ、写真、資料、自己評価カード、指示棒

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○本時のめあてを確認し、学習の見直しをもたせる。	基準A	基準B	○○○煎餅の実物
学習問題： Tさんがこだわりをもって、○○○せんぺいを作り続けるのはなぜだろう。				
本時のめあて： Tさんがこだわりをもって、○○○せんぺいを作り続けるわけについて聴き合い、友達の考えのよさを見つけ自分の考えを見直そう。				
2 聴き合い活動をする。 (1) 全体で聴き合う。 (代表児童が提案する)	○考えの違いがひと目で分かるように板書の構成を工夫する。	・自分の考えを筋道を立てて発表し、表現方法を工夫して相手に分かりやすく伝えている。	・自分の考えを筋道を立てて発表し、表現方法を工夫して相手に伝えている。	にわか の面
【考えA】 ・博多にわか伝統を伝えていきたいから。 《根拠の例》 ・○○○煎餅の形とポスター	【考えB】 ・地元で取れた原材料を使い、おいしいものを届けたいから。 《根拠の例》 ・○○○煎餅の原材料と産地			販売マ ップ(地 図資料)
＜共通点＞ ・福岡という地域の特色を大切にしながら、せんぺいを作り続けている。				
(2) グループで聴き合う。 ○自分の考えと友達の考えを比較する。 ○友達の考えのよさを見つける。 (3) 考えマップに友達の考えのよさを書き込む。	○写真資料や指示棒などを用いて発表の仕方を工夫することを伝える。 ○考えと根拠の妥当性を「考えのよさ」とし、自分の考えを見直させる。	基準Bに達しない子への支援 ・どんな視点で見直すとよいか考えさせる。 ・考えをつないでみたり、まとめてみたりする。		フリッ プ
3 自己評価カードをもとに考えの変容を発表する。 ○ポートフォリオを活用し、考えの変容を振り返り、自己評価カードに記入する。	○地産地消の考えで○○○煎餅が生産されていることに着目させる。	・自分の考えを筋道を立てて発表し、表現方法を工夫して相手に分かりやすく伝えている。	・自分の考えを筋道を立てて発表し、表現方法を工夫して相手に伝えている。	ポート フォリ オ
＜本時で目指す子どもの姿＞ 私は、Tさんが○○○煎餅を作り続けるのは、博多にわか伝統を伝えたいからと考えていたけど、○○くんの考えを聴いて、「地元の素材」もTさんが○○○煎餅を作り続ける理由だと納得しました。○○○煎餅に地域の特色がいっぱいつまっていると思いました。その考えを取り入れてもう一度学習問題の答えをつくりたいと思います。				
4 次時の学習を知る。 ○自己評価カードをもとに、学習問題について自分の考えを見直すことを伝える。	○はじめの自分の考えを振り返らせ、考えの変容を中心に自己評価カードに書かせる。	・学習問題の答えについて2つ以上の観点から自分の考えをポートフォリオなどを活用しながら振り返っている。	・学習問題の答えについて、自分の考えをポートフォリオなどを活用しながら振り返っている。	自己評 価カー ド
基準Bに達しない子への支援 ・友達の考えのよさとはじめの自分の考えを振り返らせ、考えが変容した点をとらえさせる				

